



日本共産党滑川市議会議員

ふる さわ とし ゆき
古 沢 利 之

1954年(昭和29年)2月生まれ
滑川高校普通科、千代田テレビ電子学校
放送技術科卒業。

家電販売会社勤務、アルプス農協監事、
滑川市監査委員等歴任。

1997年(平成9年)市議初当選(現在
3期)。

党滑川市委員長。

滑川民報 滑川民報 号外 2013年9,10月
日本共産党滑川市委員会の活動を紹介します。
TEL・FAX 475-3767
Eメール toshi-227@ma.net3-tv.net



参議院選挙で躍進した国会議員団と力合わせ

市民が主人公の市政実現へ

先の参議院選挙で、日本共産党は安倍自公政治の暴走に唯一対峙する政党として注目され、躍進することができました。

消費税増税や憲法改悪など、悪政の防波堤となるのが「住民の福祉の増進をはかる」議会と議員の役割です。滑川市でも、子どもの医療費無料化の拡大や、防災対策などにみなさんといっしょに取り組みできました。また、市だけでできないことは、国会議員団とも力をあわせて取り組んできました。

企業・団体献金も政党助成金も受け取らない日本共産党。誰の顔色をうかがうことなく「住民こそ主人公」の立場で市政を監視し、税金のムダ遣いをチェック。躍進した国会議員団と力をあわせてがんばります。

古沢利之はみなさんといっしょにとりくみます

- 一、国保税の引き下げにとりくみます。
- 一、TPPに反対し、農業をはじめとした地域経済を守ります。
- 一、市独自の介護保険の利用料・保険料の減免制度をめざします。
- 一、学校給食に地元食材を増やすなど、地産地消をさらにすすめ、農水産業の振興を図ります。
- 一、災害対策の強化をすすめます。
- 一、学童保育の施設整備・拡充をすすめます。
- 一、街灯、除雪など生活環境の改善に努めます。
- 一、引き続き「滑川民報」で市政、議会の様子をお知らせします。
- 一、市民の目線でムダ遣いを監視します。
- 一、憲法を守り暮らしに活かします。



営農組合のみなさんと一緒にもみすりに参加する古沢議員

雪の日も
風の日も

12年間毎週街頭から 市政問題などを訴えてきました

市議会や市政の様子を伝えるのは議員の大事な役割です。古沢議員は12年前から、ほぼ毎週JR滑川駅前で街頭宣伝。滑川民報の発行とあわせて、市政の様子を伝えています。



東部小学校のすぐ横に 学童保育所を新設

2か所に離れていた東部小学校の学童保育は、統合して学校敷地内に専用施設が新設されました。



市民のみなさんといっしょに訴えて 子どもの医療費は中学3年生まで無料に

子どもの医療費無料化は、古沢議員が党市委員会と一緒に署名も集め、市議会でもとりあげて、中学校3年生までの無料化が実現しました。その後県下でも大きな流れになっています。



東日本大震災から2年半。今年も台風や豪雨の被害が各地を襲いました。1年前の古沢議員の質問をきっかけに、防災ラジオ設置などの対策が行われています。



東日本大震災を受けて防災対策充実に
海抜表示板、防災ラジオが設置

三期目として市議会に送り出していただいたから四年間。みなさんといっしょに取り組んで、こどもの医療費無料化は入院、通院ともに中学3年生まで拡大することができました。また、東日本大震災と福島原発の事故は、私たちの災害に対する考えを一変させました。災害対策を強めるとともに、志賀原発の再稼動を許してはなりません。

三期十二年の経験を生かし全力でがんばります。

ごあいさつ